

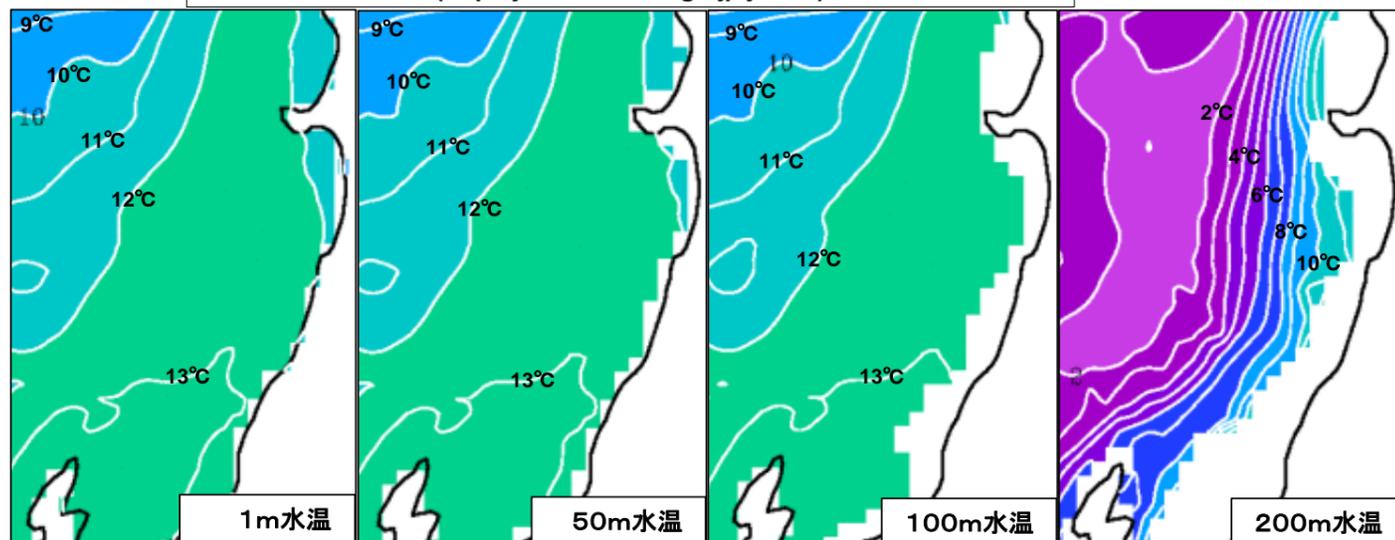
漁海況情報

第583号 (令和3年1月19日)

発行: 山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

- ・12月の地先水温は鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「**平年並み**」でした。
- ・拡張版日本海海況予測システムJADE2によると、表層から100m層までは水温の変化はほとんど見られません。また、200m層は沿岸域が例年に比べて高水温となっています。
- ・1月中旬のたら場水温観測の結果は、水深200mで平均10.0℃(平年差+2.4℃)、水深250mで平均3.4℃(平年差-0.1℃)、水深300mで平均1.9℃(平年差+0.1℃)で、これも水深200mで非常に高くなっています。
- ・2020年12月末までの本県へのサケの来遊尾数は、220,227尾で、前年比167%です。

1月8日の山形県沖水温再現図
 (国立研究開発法人水産研究・教育機構
 拡張版日本海海況予測システム JADE2 より引用して編集)
 (<http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/>)



地先平均水温(12月)

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	11.5	-0.7	-0.5	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	14.0	+0.1	+0.3	平年並み

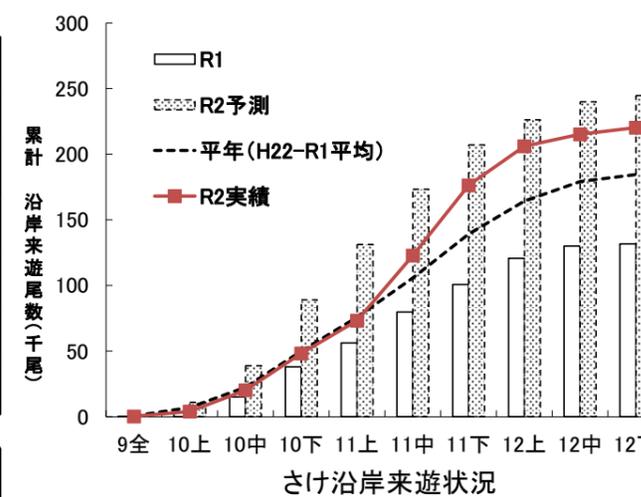
評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

山形県令和2年度さけ沿岸来遊状況

区分	沿岸漁獲尾数	河川捕獲尾数	沿岸来遊尾数
平成28年度	67,819尾	79,288尾	147,107尾
平成29年度	71,022尾	73,265尾	144,287尾
平成30年度	66,185尾	79,598尾	145,783尾
令和元年度	45,208尾	86,426尾	131,634尾
令和2年度	79,777尾	140,450尾	220,227尾
令和元年度比	176%	163%	167%

備考: 沿岸漁業 12月31日終了

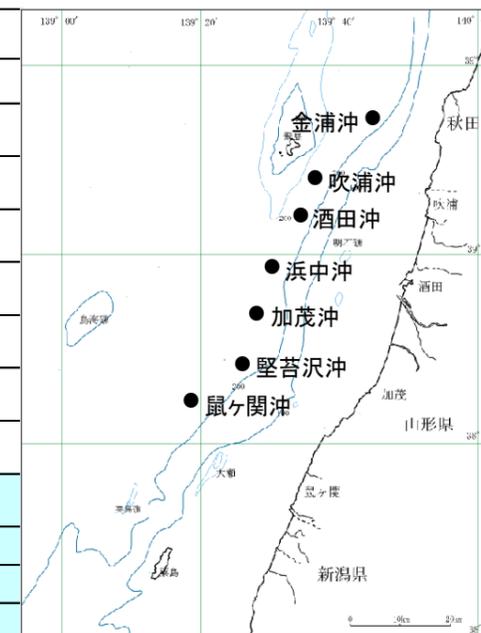
令和元年度最終実績	45,208尾	87,001尾	132,209尾
-----------	---------	---------	----------



たら場水温観測結果 (2021年1月12日 最上丸 観測) ※平年=2011~2020年の1月上旬~1月中旬たら場観測結果の平均

漁場	緯度	経度	ロラン3局	水深ヒコ	水温(平年差)(℃)		
					200m	250m	300m
鼠ヶ関沖	38° 42.6'	139° 16.5'	3060	237	10.4(+3.5)	3.0(-0.1)	1.6(-0.1)
堅苔沢沖	38° 48.1'	139° 25.0'	2977	205	10.2(+2.4)	3.6(-0.0)	1.7(+0.3)
加茂沖	38° 54.6'	139° 28.1'	2893	292	8.1(+1.3)	2.9(-0.5)	1.7(-0.2)
浜中沖	39° 00.3'	139° 31.0'	2819	266	9.6(+2.3)	2.5(-0.9)	1.5(-0.3)
酒田沖	39° 03.7'	139° 34.3'	2769	216	10.8(+3.3)	2.8(-0.7)	1.8(+0.2)
吹浦沖	39° 10.5'	139° 37.3'	2682	214	10.0(+1.4)	5.2(+1.6)	2.8(+1.2)
金浦沖	39° 13.9'	139° 43.8'	2625	213	10.8(+2.4)	3.7(+0.1)	1.9(-0.1)
平均					10.0	3.4	1.9
前年(2020年)との差					+3.5	+0.8	+0.3
平年(2011~2020年)との差					+2.4	-0.1	+0.1
評価					はなはだ高い	平年並み	平年並み

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



12月の漁況

- 延べ操業隻数は778隻で前年比71%、総漁獲量は350トンで前年比55%と前年を下回りました。船凍いか釣漁業のスルメイカ漁獲量が前年を大きく下回ったこと、時化などにより操業隻数が少なかったことが大きな要因と考えられます。
- 底びき網漁業の漁獲量は97トンで前年を下回りました。ヒラメ、カレイ類、ハタハタ、ホッケ、アンコウ、ズワイガニおよびマダラは前年を下回りました。タイ類、紅エビ(ホッコクアカエビ)およびタコ類は前年並みでした。
- 定置網漁業の漁獲量は79トンで前年を上回りました。ブリ類は前年を上回り、ハタハタ、アジおよびサバは前年を下回りました。サケは前年並みでした。
- その他の漁業では、はえなわ漁業のサワラは前年を上回り、いか一本釣り漁業および船凍いか釣漁業のスルメイカ、はえなわ漁業のフグ類、一本釣り漁業のブリ類および採貝藻漁業のアワビ、サザエ、イワノリは前年を下回りました。

- * 前年比は平成27～令和元年までの平均値と比較した値です。
- * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
- * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	63	62	214	37	127	59	11	205	778	70%	71%
総漁獲量	15,199	1,339	160,707	33,616	42,953	52,488	664	42,760	349,725	80%	55%
前年比	72%	26%	73%	122%	65%	220%	64%	61%	80%		
前年比	87%	12%	38%	122%	76%	200%	32%	59%	55%		

底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	18	42	49	22	98	229	70%	84%
タイ類	212	8,139	2,143	321	12,425	23,239	72%	85%
ヒラメ	37	89	95	37	245	502	58%	38%
カレイ類	230	704	973	597	1,633	4,136	52%	52%
ハタハタ	6,316	13,501	908	428	669	21,822	47%	49%
ホッケ	320	918	110	43	335	1,726	19%	70%
アンコウ	186	126	366	136	853	1,668	44%	44%
ズワイガニ	71	373	753	176	276	1,648	72%	41%
マダラ	582	8,011	330	189	2,214	11,326	62%	48%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	181	515	1,497	206	9,336	11,734	60%	108%
タコ類	160	196	107	273	561	1,296	79%	96%
その他	1,105	4,568	2,634	1,426	8,510	18,242		
計	9,399	37,138	9,915	3,831	37,056	97,338	56%	63%
前年比	81%	73%	26%	47%	57%	56%		
前年比	91%	92%	34%	52%	56%	63%		

定置網漁業

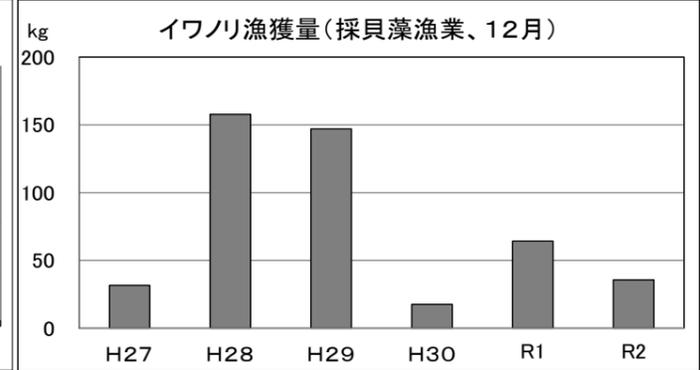
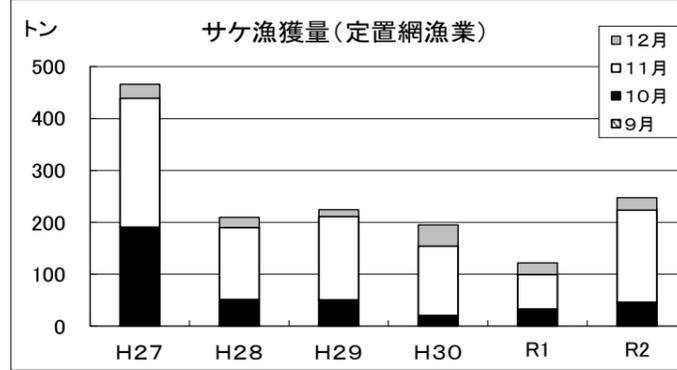
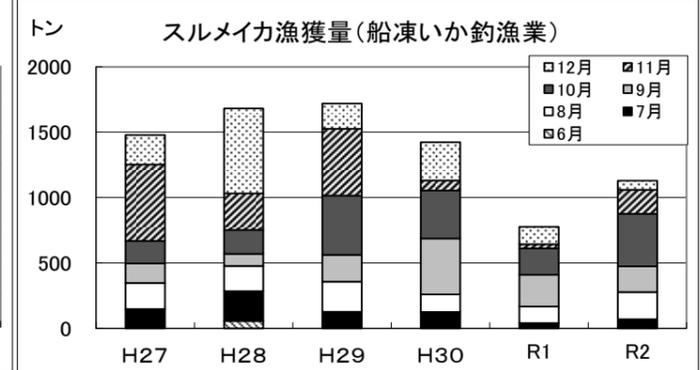
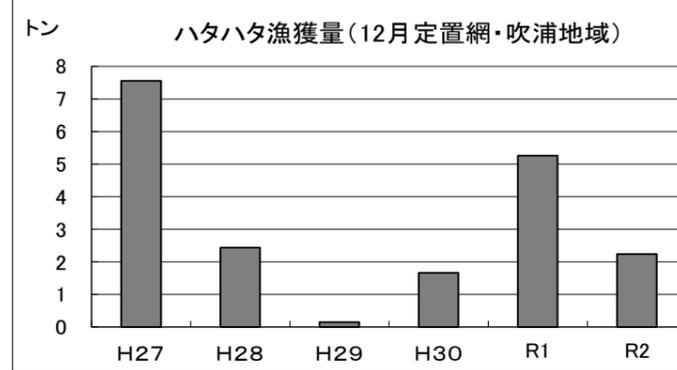
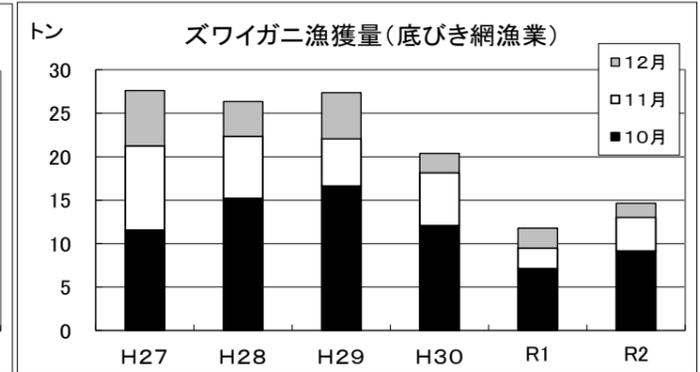
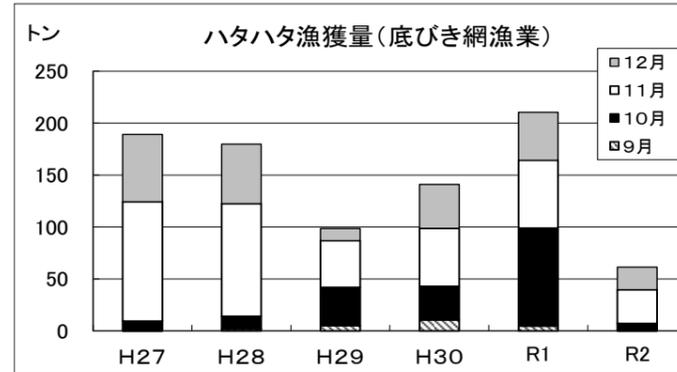
支所	吹浦	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	2	1	22	9	3	37	76%	81%
ハタハタ	2,243					2,243	43%	66%
サケ		1,230	15,318	5,561	1,700	23,809	107%	97%
ブリ類		35	5,290	41,520	6	46,851	969%	372%
アジ		70	1,879	405	10	2,363	48%	77%
サバ		20	373	27		420	7%	23%
その他		69	3,102	421	30	3,622		
計	2,243	1,424	25,962	47,933	1,747	79,309	162%	155%
前年比	42%	38%	101%	344%	1006%	162%		
前年比	63%	25%	110%	271%	364%	155%		

その他の漁業

単位: 隻、kg

漁業種類	いか一本釣り漁業	船凍いか釣漁業	はえなわ漁業		一本釣り漁業	採貝藻漁業		
延べ操業隻数	96	6	82		59	141		
総漁獲量			4,924		3,086	2,367		
前年比			84%		41%	78%		
前年比			38%		21%	55%		
主な魚種	スルメイカ	スルメイカ	サワラ	フグ類(※)	ブリ類	アワビ	サザエ	イワノリ
漁獲量	53,961	70,568	3,669	311	1,609	264	1,946	36
前年比	164%	53%	169%	31%	29%	54%	88%	55%
前年比	73%	24%	176%	33%	12%	22%	70%	43%

※トラフグを含む



最上丸の予定(1月下旬~2月上旬)

- ・ 夕方の水温観測を行います。
- ・ 海洋観測を行います。
- ・ 新資源・新漁場の探索調査を行います。

みなさま、調査への御協力。御理解よろしく願います。

